

東京エネシス御中

御社が施工中の太陽光発電所の防災対策会議が開催されることになりました。その会合で確認したいことがあります。あらかじめお伝えしておきますので御準備をお願い致します。出来ましたら文書提示いただけたらありがたいです。

県環境林務部長は6月県議会で『施工中の雨水対策が不十分だったことが原因』とし、土砂崩れを防ぐ芝張りが一部未施工、土のうの設置不足を指摘したとの新聞報道がありました。これらの件を含めてお答え願います。

- ① 当初、設計を行ったのは霧島エンジニアリング(株)です。御社は霧島エンジニアリング(株)との設計契約を破棄したと聞きます。今後の対応をお示してください。
- ② 設計図に芝張りの記載がありましたか？
- ③ 5月10日の災害は設計がまずかったのか、施工がまずかったのか、どのようにお考えですか？
- ④ 御社は住民説明会でシラス地の十分な施工経験があると説明されました。5月10日の災害後、現地責任者はシラス地の施工経験は無いと住民に伝えました。この事実をどのように思われますか？
- ⑤ 御社は県の指導に従い、芝張り、仮沈砂池の設置、土のうの設置などを実施しました。しかしながら芝は根付いておらず、仮沈砂池が破壊されたり、調整池の土砂撤去は4ヶ月以上を要しました。シラスの上に芝を置き根付いていない状態で県はパネル工事の再開を容認されたと聞きました。事実ですか？
- ⑥ 地元住民の了解無しには工事の再開をしないとの約束が守られず、パネル設置工事が再開され、その後パネル下の芝が流出する事態となっています。御社のお考えをお聞かせ下さい。
- ⑦ 住民と『平成22年7月に発生した豪雨(最大時間雨量126ミリメートル、12時間総雨量406ミリメートル)に耐えうる防災施設を作る。全てのパネル設置場所の雨水は地下浸透水を除き調整池経由で河川に流れる設計とする。』内容の覚書を締結しております。設計図に反映されているかの事実確認と施工状況をお聞かせ下さい。

以上、よろしくお願ひ致します。

霧島市議会議員 中村満雄  
携帯：080-8500-0803